



発行所
一般財団法人
大阪市青少年活動協会
あいす・おおさか
〒540-0006 大阪市中央区法円坂1-1-18
大阪市教育会館内
TEL 06-6942-0410 FAX 06-6949-3182
<https://ays-osaka.jp>
編集発行人 山下 耕二

◆財団設立から50周年を迎えました◆ ～大阪市青少年活動協会のあゆみ(1)～

◆協会設立の経緯

大阪市青少年活動協会（以下「協会」という。）は、1975(昭和50)年5月1日に設立され、今年、50周年を迎えました。協会は大阪市との関係が深く、その歴史を遡ると1951(昭和26)年に、大阪市・大阪市教育委員会・大阪市青年団体協議会（以下「市青協」という。）の三者が、戦後初の教育キャンプ講習会「第1回キャンプトレーニング」を吹田市千里山で開催したことに始まります。

協会の初代常務理事（後の専務理事）である鈴木富治氏は、この頃、市青協副会長を務めており、講習会の運営にも深く関わっ



（開設当時の大阪市立信太山キャンプ場）

ていました。また、同年夏には、和歌山市大川海岸でこどもクラブ指導者を対象とした「キャンプ講習会」が開催され、1千名を超える参加者が集まりました。こうした教育キャンプへの関心の高まりを受けて、大阪府は翌年から、「キャンプ指導者養成講習会」と指導者が常駐する「大阪市キャンプ場」を開設し、ここから市青協だけでなく、YMCAやボーイスカウト、学校教員の方々が加わった形での運営が始まりました。

以上のように、大阪府は戦後いち早く指導者養成事業に取り組み、そこで育った指導者の活躍の場として、「大阪市キャンプ場」を開設しましたが、開催場所が転々とし、常設化が望まれたため、1957(昭和32)年、和泉市に「大阪市立信太山キャンプ場」を開設しました。

これを契機に、新しい施設の運営を効率的に行うため、また、教育キャンプを通じて大阪市内の青少年の健全育成を図ることを目的

として、協会の前身にあたる「大阪市青少年キャンプ協会」が誕生しました。その後、スキーやハイキングなど、多様化する野外活動のニーズに応えるために、1963(昭和38)年に「大阪市青少年野外活動協会」へと改称され、名実ともに野外活動全般に取り組む団体となりました。



（大阪府立長居ユースホステル開所式）

その後、1975(昭和50)年に、大阪府と関係団体、関西財界の皆様からのお力添えをいただくことで、協会は財団法人としての歩みを始めることとなりました。この頃の青少年を取り巻く社会の変化は急激で、財団設立に至った背景として、10周年記念誌では、「孤独感や疎外感に悩む青少年が増加している社会問題に対し、これらの青少年に生きる喜びと明日への希望を見出させるための積極的な働きかけをすることが、何にも増して優先させなければならない営みである。この大役を担う協会がより効果的な活動を展開し得るように、今までの組織を発展的に解消し、大阪府と民間が一丸となって財団法人大阪市青少年活動協会を設立した」と記載されています。

以上のように戦後間もない頃にはすでに協会の萌芽は見られ、その後、多くの方々のご支援とご協力によりその芽は徐々に育ち、協会は指導者養成事業や施設の管理運営による「人材の育成」と「活動の場作り」を通して、大きく発展してきました。



（開設当時の大阪府立伊賀青少年野外活動センター キャンプ場）



◆50年のあゆみ（略歴）

1957（昭和32）年	「大阪市青少年キャンプ協会」創立 大阪市教育キャンプ指導者養成講習会を大阪市立信太山キャンプ場で開催 この年に開設された大阪市立信太山キャンプ場の運営指導を実施
1963（昭和38）年	「大阪市青少年野外活動協会」と改称
1966（昭和41）年	独自の事業キャンプ（比良登山、びわこバスツアー、スキーのつどい等）を実施（～現在）
1970（昭和45）年	大阪市立長居ユースホステル開設、管理運営を受託（～2021年）
1975（昭和50）年	「財団法人大阪市青少年活動協会」設立 大阪市青少年指導者養成講習会事業を受託
1976（昭和51）年	大阪市立伊賀青少年野外活動センター開設、管理運営を受託 青少年指導者養成講習会の名称を大阪市青少年リーダーズスクールとする
1977（昭和52）年	大阪市青少年活動リーダーズスクール事業を受託
1979（昭和54）年	大学生・専門学校生を対象に「ボランティアスタッフ」養成事業を開始
1980（昭和55）年	設立5周年を機に、機関紙「ふいーるど」創刊
1987（昭和62）年	大阪市青少年健全育成基金制度発足、事務局の運営
1992（平成4）年	大阪市立信太山野外活動センターキャンプ場、運営を受託
1995（平成7）年	アウトドアクラブ事業を受託（～2007年、※主催事業として継続実施中）
2002（平成14）年	大阪市立信太山青少年野外活動センター、管理運営を受託 協会の愛称を「あいす・おおさか」、青少年育成事業の総称を「ディーズ！プラン」と定める
2004（平成16）年	大阪市立青少年文化創造ステーション開設、指定管理者の指定を受ける（～2006年）
2006（平成18）年	大阪市の野外活動施設（伊賀、信太山、びわ湖）及び大阪での受付窓口、指定管理者の指定を受ける 大阪市立長居ユースホステルの指定管理者の指定を受ける（～2021年）
2009（平成21）年	和泉市立青少年の家・榎尾山森林浴コースの指定管理者の指定を受ける（～2022年）
2011（平成23）年	松原市少年自然の家の指定管理者の指定を受ける（～2022年）
2012（平成24）年	公益法人制度改革により非営利型の一般財団法人「一般財団法人大阪市青少年活動協会」へ移行 吹田市自然体験交流センターの指定管理者の指定を受ける
2014（平成26）年	大阪市立伊賀青少年野外活動センター、大阪市立びわ湖青少年の家の廃止により運営を終える 京都府立るり溪少年自然の家の指定管理者の指定を受ける 吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館青少年活動サポートプラザの指定管理者の指定を受ける
2020（令和2）年	吹田市立自然の家の指定管理者の指定を受ける
2025（令和7）年	大阪市教育会館改築のため、事務局を新館に移転する 財団設立50周年を迎える

◆大切にしてきた想い

青少年施設の運営においては「キャンパースファースト」を基本理念としています。これは伊賀青少年野外活動センター初代所長であった長澤茂氏が中学教諭として青少年施設を利用した際に、当時は当たり前であった厳しい点検とやり直しのために、大きく予定を変更せざるをえなかった経験から、職員やボランティアスタッフに対して「部屋や自炊道具を汚いままが良いと思っている利用者はいない。団体が頑張った結果を受け止め、出来ていなければ私たちがやれば良い。大変かもしれないけれど頑張らしましょう」との想いを端緒としています。施設のルールを押しつけるだけではなく、利用者のためにできることを共に考えようという姿勢は、協会職員にとって大切な想いの一つとなっています。

現在、協会は「将来を担うこども青少年に、仲間とともに自然や文化に触れる中で、五感を開く場と機会を提供することにより、行動力・生活力・創造力・判断力を養い、心身ともに健全に育ってほしい

という願いを込めて活動します」という理念のもと、様々な事業を展開しています。こうした事業運営においては、財団設立前から長く続いてきた指導者養成事業を通して連綿と引き継がれてきた、「青少年育成にとって指導者こそ宝である」という想いもまた、私たちにとって大切な拠り所となっています。

50年の歴史を通して時代の変化に対応し、時々の要請に応えながら、協会が行う事業の形は様々に変わってきましたが、これまで協会が大切にしてきた想いをしっかりと軸に据え、これからも青少年育成という限りなく続く重要な道を歩み続けます。

（次号へ続く）



（大阪市立伊賀青少年野外活動センター開所時の職員）

■ 事業レポート ■■■■■

◎エンジョイ！マリンキャンプ

大阪府立青少年海洋センターで、1泊2日の「エンジョイ！マリンキャンプ」を実施しました。初日の午後はカヌー体験です。パドルの使い方やカヌーの乗り方のレクチャーを真剣な表情で聞き、いざ海へ！



この日は風もなく、波も穏やかで、絶好のカヌー日和でした。初めてのパドル操作に最初は戸惑う様子も見られ、右へ左へとふらつくカヌーもありましたが、操作に慣れる

と、「いち！に！いち！に！」と元気な掛け声を合わせながら、スイスイと水面を進んでいきます。友だちと協力して漕ぐ姿はまさに海の冒険家のような様子でした。

カヌーでお腹を空かせた子どもたちを待っていたのは、「焼きそば作り」です。みんなで役割分担をして、具材を切る係、火をおこす係、炒める係など、それぞれの持ち場で一生懸命に協力しました。力を合わせて作った焼きそばは、普段とは一味違う、格別の美味しさ！「おかわり！」の声が聞こえ、みんなで作った喜びと美味しさを分



かち合いました。

夕食の後は、キャンプの醍醐味であるキャンプファイア！炎がパチパチと音を立てる中、みんなで歌を歌ったり、手拍子に合わせて踊ったりと、楽しい時間を過ごしました。炎の揺らめきが、子どもたちの笑顔をさらに輝かせ、忘れられない思い出を刻みました。

2日目は、砂浜でのビーチ遊びです。砂浜には色とりどりのきれいな貝殻がたくさん落ちて



いて、子どもたちは夢中になってさまざまな色や形の貝を集めていました。また、やわらかな砂浜で大きな穴を掘ったり、ビーチフラッグを楽しんだり、青空の下で思いっきり体を動かしました。

「エンジョイ！マリンキャンプ」は、カヌーや野外炊事、キャンプファイア、ビーチ遊びといった体験を通して自然と触れ合い、協力することの大切を知り、仲間との絆を深める貴重な機会となりました。キラキラと輝く子どもたちの笑顔は、私たちスタッフにとっても忘れられない宝物となりました。



コラム 野遊びのすすめ イタダリのたて笛

フランス国立研究機関(PALOC)の研究員ロマン・シネレル氏からのお誘いで北海道森林管理局「21世紀・アイヌ文化伝承の森プロジェクト」に参加しました。北海道でも伝統的な草木あそび文化を伝承する人がいなくなり、子どもたちに草花遊びの楽しさを体験することをとおして、再度、アイヌ文化伝承の機会になればとの思いから北海道を訪問し、小学校低学年、保育園の子どもたちを対象にワークショップを開く機会をもちました。

季節的にたんぽぽあそびを中心に展開し、子どもたちはたいへん喜んでくれていました。そんなプログラムの終わり頃に、父兄と思われる方が、北海道産のオオイタドリを取り出し、ナイフを使って、いとも簡単にイタダリの笛を作りはじめました。そして、「ポーポー」と低く鳴り響くたて笛の音色に、子どもたちの視線は釘付けでした。これぞ、親から子へと遊び文化が伝承されていく構図なのだと、改めて思う場面でした。

作り方は、図のようにカットします。息を吹きながら鳴る角度を探します。

（草木遊び塾 主宰 松井鴻）



素敵・快適・観光バスの旅



近鉄バス株式会社
営業部観光営業課

〒577-0055
東大阪市長栄寺19-17

当社では観光、教育、視察、イベントなど、様々なご要望にお応えし、安全を最優先にしながら、お客様のご旅行が素敵なものとなるようにサポートさせていただきます。観光バスのお見積り、ご用命は下記の電話番号へお問い合わせください。

また、当社ではバス乗務員を随時募集しております。充実の研修制度でバックアップ！あなたの“夢”近鉄バスで叶えてみませんか？

ホームページ <https://www.kintetsu-bus.co.jp>

検索

近鉄バス

公式SNSも更新中！



TEL 06-6781-0711(代) FAX 06-6781-8088

あいす・おおさか デーズ! スラン

■2025年8月～11月の小学生対象キャンプ予定

事業名	日程	場所	対象	交通機関	参加費	集合解散
サマーキャンプin信太山	A日程 8月11日(月)～13日(水) 2泊3日 B日程 8月16日(土)～18日(月) 2泊3日	大阪府和泉市 大阪市立信太山青少年野外活動センター	小学1年～4年生	貸切バス利用	27,500円	A日程 天王寺駅 B日程 新大阪駅
はじめてのサマーキャンプin信太山	A日程 8月13日(水)～14日(木) 1泊2日 B日程 8月18日(月)～19日(火) 1泊2日	大阪府和泉市 大阪市立信太山青少年野外活動センター	小学1年～4年生	貸切バス利用	20,000円	A日程 天王寺駅 B日程 新大阪駅
淡路島マリンキャンプ	8月13日(水)～15日(金) 2泊3日	兵庫県南あわじ市 国立淡路青少年交流の家	小学1年～6年生	貸切バス利用	31,500円	新大阪駅 天王寺駅
若狭マリンキャンプ	8月21日(木)～23日(土) 2泊3日	福井県小浜市 国立若狭青少年自然の家	小学1年～6年生	貸切バス利用	31,500円	新大阪駅 天王寺駅
あけのべサマーキャンプ	8月22日(金)～24日(日) 2泊3日	兵庫県養父市 あけのべ自然学校	小学1年～6年生	貸切バス利用	33,500円	新大阪駅 天王寺駅
チャレンジ!マリンキャンプ	8月30日(土)～31日(日) 1泊2日	大阪府岬町 大阪府立青少年海洋センター	小学1年～6年生	貸切バス利用	25,000円	新大阪駅 天王寺駅
恐竜キャンプ	A日程 9月13日(土)～14日(日) 1泊2日 B日程 11月8日(土)～9日(日) 1泊2日	福井県大野市 福井県立奥越高原青少年自然の家	小学1年～6年生	貸切バス利用	30,500円	A日程 天王寺駅 B日程 新大阪駅
たんけんキャンプ	10月11日(土)～13日(月・祝) 2泊3日	大阪府和泉市 大阪市立信太山青少年野外活動センター	小学1年～6年生	JR利用	24,500円	大阪駅 天王寺駅
忍者体験キャンプ	10月11日(土)～13日(月・祝) 2泊3日	京都府南丹市 京都府立るり溪少年自然の家	小学1年～6年生	貸切バス利用	29,500円	新大阪駅 天王寺駅

申込状況や詳しい内容についてはお問い合わせください。

TOPICS トピックス

ボランティアスタッフ卒業式を行いました!

2月18日に、令和6年度ボランティアスタッフ卒業式を挙行了しました。今年度は43期生11名、44期生7名の合計18名が卒業を迎えました。本年も大阪天満橋ロータリークラブから平尾会長をはじめ5名の皆様にご参列いただき、平尾会長から卒業スタッフへ青年功績賞と記念品を授与されるとともに、温かい励ましのお言葉を頂戴しました。社会へ羽ばたく卒業スタッフの皆様の今後のご活躍を心よりお祈りしています。



TOPICS トピックス

信太山での設備改善の取り組み

利用者の皆様から、「使いにくい」「臭いが気になる」という声があったキャンプ場奥ークサイトの汲み取り式和式トイレを簡易水洗式洋式トイレに改修しました。「綺麗になってよかった」「衛生的で気持ちが良い」と好評をいただいています。また、見通しが悪い上に、狭く出入りがしづらかったパノラマサイトの車用ゲートの拡張工事を行い、乗用車ならびに歩行者が安全に行き来できるようになりました。これからも利用者の皆様が安全かつ快適に利用できるように設備の整備に努めていきます。



◆多目的広場でサッカーや野球スポーツ合宿のできる施設

大阪市立信太山青少年野外活動センター

大阪府和泉市伯太町 TEL 0725-41-2921
<https://shinodayama.com/>

◆山や川、湖など一年中自然を満喫できる施設

吹田市立自然の家(もくもくの里)

滋賀県高島市今津町南生見 TEL 0740-24-0131
<https://mokumoku-suita.jp/>

◆野外活動や環境学習、生涯学習活動に適した施設

吹田市自然体験交流センター(わくわくの郷)

大阪府吹田市藤白台 TEL 06-6872-0713
<https://wakuwaku-suita.com/>

◆学び、活動し、交流できる施設

吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館(ゆいびあ)

青少年活動サポートプラザ 大阪府吹田市山田西
TEL 06-6816-8552 <https://support-suita.jp/>

◆学校オリエンテーションキャンプや合宿に適した施設

京都府立るり溪少年自然の家(グリーンパルるり溪)

京都府南丹市園部町 TEL 0771-65-0190
<https://kyoto-rurikei.jp/>

◆青少年活動・野外活動についての相談は

大阪市青少年活動協会サービスステーション

大阪市青少年活動協会 事務局 TEL 06-6942-0410